

近聞遠見

岩見 隆夫



先週、△小戦争▽は面白くなる、と書いたら、2日後に片

方の△小▽が消えてしまった。

一体、民主党内はなにがどうな

っているのか。

19日付の△鳩山由紀夫メール

マガジン▽によると、17日、小

沢一郎代表代行から、

「代表就任を辞退したい」

と言われ、耳を疑った。国民

年金の義務化以前の未加入なら

法的責任は生じないのだから、

辞退の必要はないのではない

か、と翻意を求めたが、小沢は

こう述べたという。

「いや、そうではない。政治

責任がまったくないとは思わな

い。小泉と同じ時期に未加入な

らば、小泉を追いつめられない

じゃないか。小泉と刺し違える

覚悟で代表になることはやめ

る。それが小沢美学だ。許して

ほしい」

しかし、刺し違えどころか、

小泉純一郎首相はけさ、勇躍平

壤に飛んだ。小沢辞退をめぐっ

ては、さまざまうわさが流れ

ているが、いずれ真相が浮きで

てくるだろう。

△小沢美学▽のお陰と言っ

きか、意外な展開で、岡田克也

新代表が生まれた。若手起用で

騒がれた自民党幹事長の安倍晋

三より一歳年長だけの50歳だ。

62歳同士の△小沢▽対決かと思

われたのが、一転若返りである。

政調会長、幹事長をソツなく

こなし、酒を飲まない、面白

の乏しい堅物、というのが党内

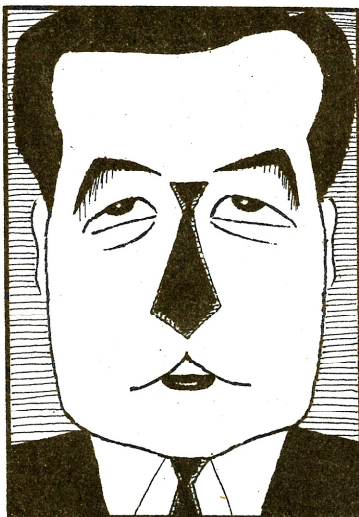
のほぼ一致した岡田評で、

「性格が権威主義的、包容力

に欠ける」

という若手の声も聞いた。

岡田克也の「隠れた一面」



え・西村 晃一

だが、次のような秘話もある。

「一人で行かせるわけにはいかない」

99年夏のコンボ、虐殺

とNATOの空爆が終わ

ったあとのことだ。大量

の難民が発生した。

国際ボランティア活動に長年

従事した異色議員、**藤田幸久**

民

2人でコンボ入りする。現地では、戦火の煙が立ちこめるなか、イタリア軍司令官のもとで

一人で慰問に向いていた。今度は自腹で。いま、藤田は、

「恥ずかしながら総選挙も近く、私は決断できなかった。岡

田さんは地味で不器用かもしれないが、心に感じたら実行する

情の人だ。決断力もある」

と言う。

幹事長時代、落選議員の地元

をたんねんに訪ね歩き、激励し

たことがあった。だれも知らない。議員の一人は、

「14、15人回ったはずですよ。

なかなかできないことです」

と漏らした。

隠れた一面である。一昨年暮

れ、岡田が幹事長、野田佳彦が

国対委員長、枝野幸男が政調会

長に就任したとき、社民党の福

島瑞穂幹事長(当時)からお祝

いの花が届いた。

岡田はすぐに送り返しただけ

でなく、野田らにも返すように

勧めたという。小泉も贈り物を

一切、受け取らない。

△潔癖対決▽か。これも、面

白いかもしれない。(敬称略)

〓毎週土曜日に掲載

当コラムで紹介したが、このとき新人の藤田は、
「人道支援をすべきだ。難民救済のため隣国のマケドニアに民主党の事務所を開設したい」と提案する。藤田が出掛けることになるが、外務省は危険地域に国会議員が入ることに強く反対した。菅直人代表も、

日本人の女性ボランティアが十数人、地雷除去のために懸命の活躍をしていた。感激した岡田は、
「数カ月後に必ずまた来ます」とボランティアたちに約束する。年末、岡田は、
「行くぞ」
と誘ったが、藤田が渋ると、